



2025.8.8

2026年3月期 第1四半期 決算説明会資料

セイノーホールディングス株式会社（9076）

目次

01

2026年3月期 第1四半期 決算概要

02

輸送事業について

Appendix

本日お伝えしたいこと



- **【増収増益】** 2026年3月期第1四半期決算は、適正運賃収受の進展やMDロジス連結効果などにより、売上高21%、営業利益40%の増収・増益となりました。MDロジスを除いても、売上高は3%増収、営業利益は17%増益となりました。
- **【運賃適正化】** 輸送事業の特積みでは、物量想定には若干届かなかったものの、単価は当社に強みのある高重量帯が全体をけん引し、5%の伸長となったことで、増収増益に貢献しました。
- **【運行便効率化】** 営業費用は増加したものの、運行便の効率化により費用増加を抑制したことも増益の一因となりました。
- **【ロジ・貸切伸長】** ロジスティクスは、MDロジスに加え、新設施設の稼働が上がり売上を拡大、貸切については、ハコベルの求車・求貨システムを活用した受注増により伸長しました。
- **【業績予想据え置き】** 第1四半期の進捗はオンラインであることから、通期業績予想（営業利益77億円増〔25%増〕など）は据え置きとしました。



01

2026年3月期 第1四半期 決算概要

P / L : 増収・増益



MDロジスの連結効果に加え特積みの伸長により増収・増益

単位:百万円	24.6	25.6	前年同期比	上期 進捗率
売上高	164,632	199,571	+21.2%	50.1%
売上総利益	19,039	23,504	+23.5%	
(粗利益率)	11.6%	11.8%	+0.2pt	
販売管理費	12,492	14,298	+14.5%	
営業利益	6,546	9,205	+40.6%	54.2%
(営業利益率)	4.0%	4.6%	+0.6pt	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,195	5,653	+76.9%	60.8%

売上高

前年同期比 +21.2%

(MDロジス除く)

前年同期比 +3.4%

輸送事業の特積みでの適正運賃収受の進展による単価上昇に加え、MDロジス連結効果（294億円）などもあり349億円の増収

営業利益

前年同期比 +40.6%

(MDロジス除く)

前年同期比 +17.0%

輸送事業での売上増加や、運行便の効率化により費用増加を抑制したことに加え、MDロジス連結効果（15億円）もあり26億円の増益

四半期純利益

前年同期比 +76.9%

(MDロジス除く)

前年同期比 +56.4%

営業利益の増加に加え、固定資産処分損が12億円減少したことなどから、四半期純利益は24億円の増益（MDロジス連結効果：6億円）

事業の概要：輸送事業は増収増益



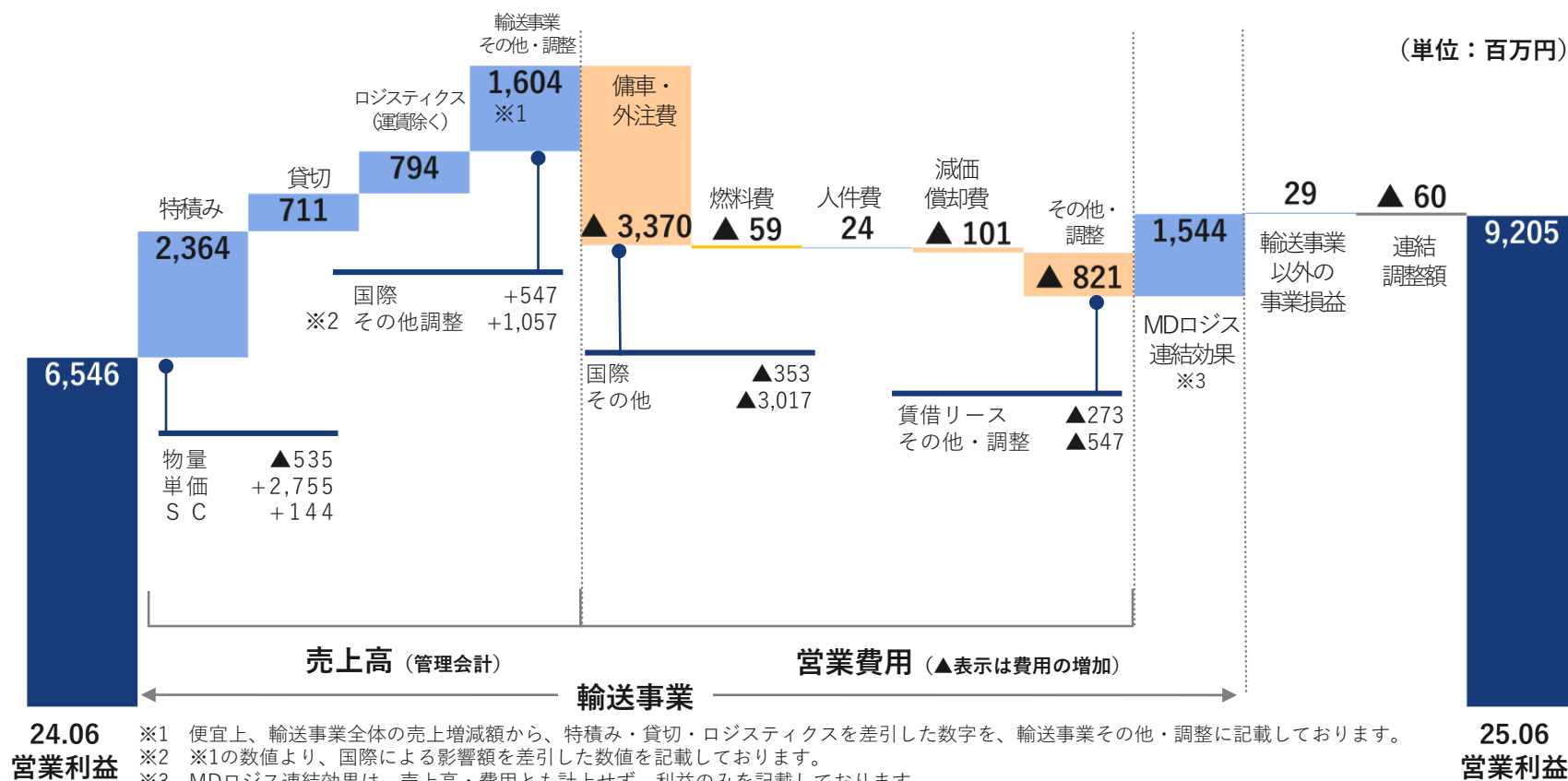
単位:百万円	売上高 (前年同期比) 【上期進捗率】	営業利益 (前年同期比) 【上期進捗率】	25.6 事業概況	KPI
輸送事業	155,002 (+29.0%) 【50.2%】	6,270 (+75.1%) 【51.9%】	売上高 強みのある高重量帯を中心に適正運賃収受が進展し、5%の単価上昇となったことに、MDロジスの連結効果が加わり増収 【MDロジス除く前年同期比：+4.6%】 営業利益 増収に加え、運行便の効率化により費用増加を抑制したことに、MDロジスの連結効果が加わり増益 【MDロジス除く前年同期比：+32.0%】	特積 前年同期比 物量 98.9% (西濃運輸：一般+ミニ) (グループ：99.3%) kg単価 105.0% (西濃運輸：一般) (グループ：104.4%) ロジスティクス 前年同期比 売上 189.5% (発送運賃除く) 貸切 前年同期比 売上 106.1% (西濃運輸)
自動車販売事業	27,404 (▲5.1%) 【48.5%】	2,259 (▲6.2%) 【63.8%】	売上高 乗用車は、新車販売台数は増加したものの、高価格帯人気車種のモデルチェンジ効果が一巡、トラックは、バックオーダーで好調であった前年からの反動減もあり減収 営業利益 新車販売での売上減少や、乗用車の中古卸売販売での台あたりの利益の減少などもあり減益	新車販売台数 前年同期比 乗用車 4,349 台 (103.4%) トラック 514 台 (68.9%)
物品販売事業	9,871 (+12.5%) 【53.6%】	348 (+42.6%) 【62.2%】	燃料販売での単価の上昇に加え、介護用品を中心とした家庭紙販売が好調に推移したこともあり、増収・増益	
不動産賃貸事業	608 (+5.6%) 【50.7%】	448 (+6.2%) 【52.7%】	新規賃貸物件（旧板橋支店・旧京都支店）の増加などもあり、増収・増益	
その他	6,685 (+6.4%) 【49.2%】	508 (+10.6%) 【54.7%】	情報サービス、管工事業などが好調であったことにより増収・増益	

連結営業利益の増減要因（前年同期比）



輸送事業は、適正運賃収受の進展などによる売上拡大が、備車・外注費等の費用増加を上回り、MDロジスの連結効果を除いても増益、連結営業利益についても増益

（MDロジスの連結影響が大きいため、売上高・営業費用より除外し、MDロジス連結効果に計上しております）



輸送事業の営業費用 (MDロジスを除く)



売上増加（4.6%）に対し、運行便の効率化により
費用増加（3.8%）を抑制したことも増益に繋がった一因

単位:百万円	24.06	25.06	前年同期比	コメント	
人件費	47,629	47,604	▲24 (▲0.1%)	人員増減 正社員 臨時雇用	+0.2% ▲3.2%
燃料費	4,416	4,476	59 (+1.3%)		
減価償却費	4,719	4,821	101 (+2.2%)	建物及び構築物 車両及び運搬具 ソフトウェア その他	48百万円 35百万円 23百万円 ▲5百万円
傭車料・取扱手数料・外注費	46,980	50,351	+3,370 (+7.2%)	国際運送原価の増加 国際運送原価以外の増加(※) ※運行便の効率化(減便)による570百万円の費用削減後	353百万円 3,017百万円
その他	13,377	14,353	+976 (+7.3%)	賃借・リース料の増加 賃借・リース料以外の増加	273百万円 703百万円
営業費用合計	117,123	121,608	4,484 (+3.8%)	MDロジスを除く売上増加	5,473百万円 (+4.6%)

キャッシュ・フロー



第1四半期は、キャッシュ・フローに大きな変動なし

単位:百万円	24.06	25.06	増減額	増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	20,272	15,072	▲5,200	税金等調整前四半期純利益の増加 (+4,126) 固定資産除売却損益 (▲1,229) 売上債権の増減額 (▲583) 棚卸資産の増減額 (▲1,628) 仕入債務の増減額 (▲2,584) 法人税等の支払額の増加 (▲2,740)
投資活動による キャッシュ・フロー	▲15,656	▲10,786	4,870	定期預金の払戻預入による増減 (+4,886) 固定資産の取得による支出 (▲356)
財務活動による キャッシュ・フロー	▲10,259	▲9,826	432	短期借入金の増減額 (▲290) 配当金の支払額 (+778)
フリー・キャッシュ・フロー	4,615	4,285	▲329	
現金及び現金同等物に係る 換算差額	26	▲113	▲140	
現金及び現金同等物の増減	▲5,617	▲5,654	▲37	
現金及び現金同等物の 期首残高	75,378	77,354	1,976	
現金及び現金同等物の期末残高	69,761	71,700	+1,938	

02

輸送事業について



特積み：物量・単価の状況



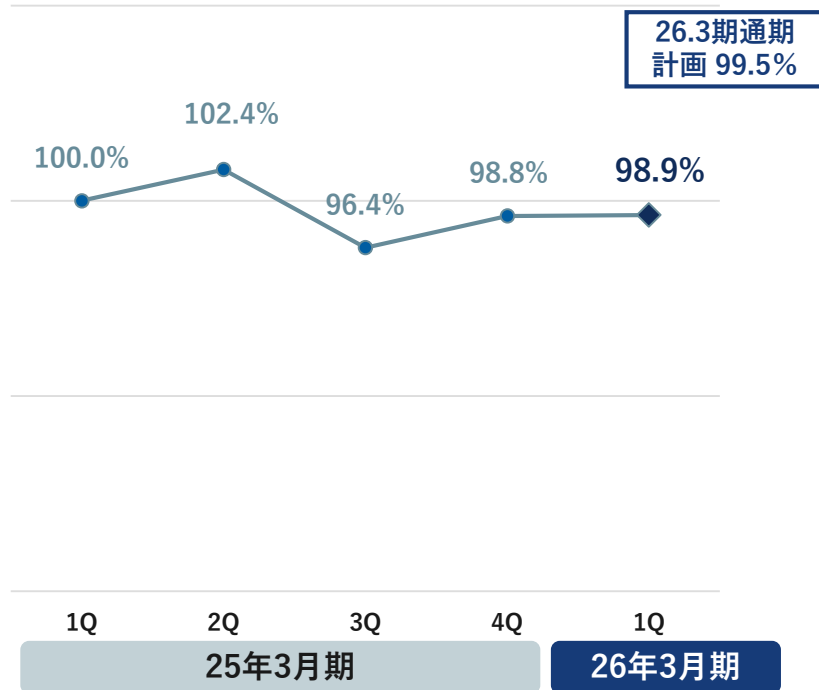
国内個人消費の停滞などにより物量は減少
1 Qでは前年を下回るも
25.3期3Qからマイナス幅は縮小

適正運賃収受は堅調に推移

通期では先期から更に104.5%成長を計画

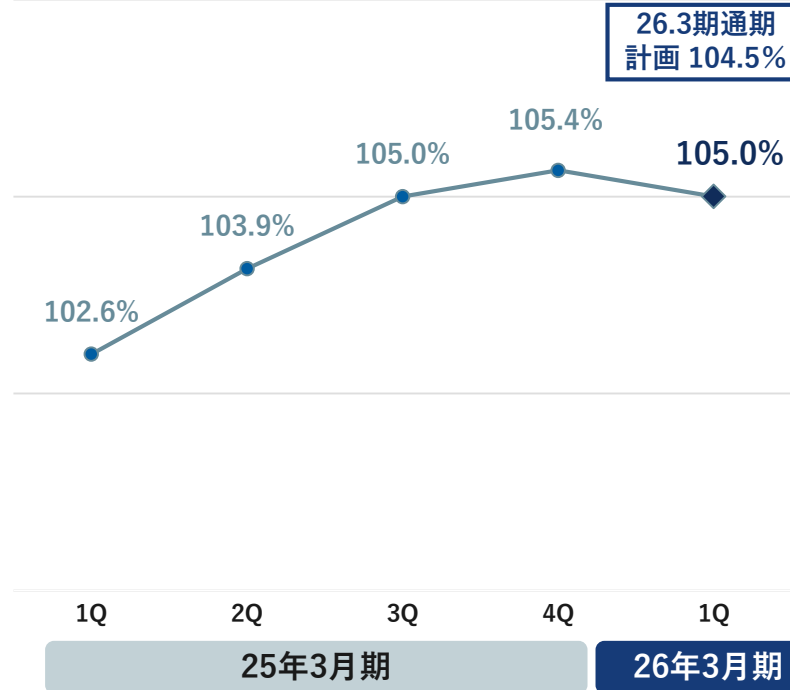
日当たり物量（前年同期比）

（集計：西濃運輸 一般+ミニ便）



kg単価（前年同期比）

（集計：西濃運輸 一般便）

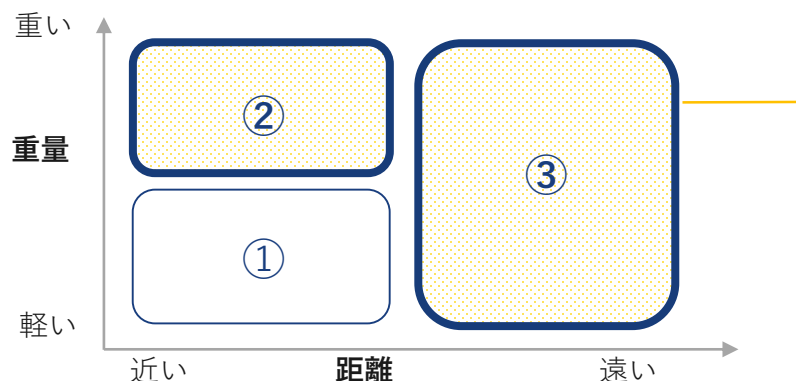




重量・距離帯別の分析（西濃運輸）

適正運賃収受は引き続き堅調に推移

重量・距離帯別領域



(集計：一般+ミニ) (集計：一般)

重量・距離帯別 前年比（4-6月）

重量帯／距離帯	日当り物量	kg単価
①300kg以下／ 500km以下	98.8%	104.6%
②300kg超／ 500km以下	100.6%	106.4%
③500km超	97.6%	105.3%
全体	98.9%	105.0%

物量(4-6月)

想定 99.1% 実績 98.9%

- ・国内の個人消費停滞により物量が減少
- ・適正運賃収受による若干の影響もあり
地帯③における物量の戻りが前年下期比で鈍化
- ・全体では想定より0.2%減
- ・引き続き、適正運賃収受は継続

単価(4-6月)

想定 104.4% 実績 105.0%

- ・今期は物量減を踏まえ、他社動向を注視しつつ
当社の強みである中ロット輸送を活かして
単価アップを継続
- ・引き続きお客様のお困り事も対応し価値提供を
続けながら、単価改定の上乗率を上げる

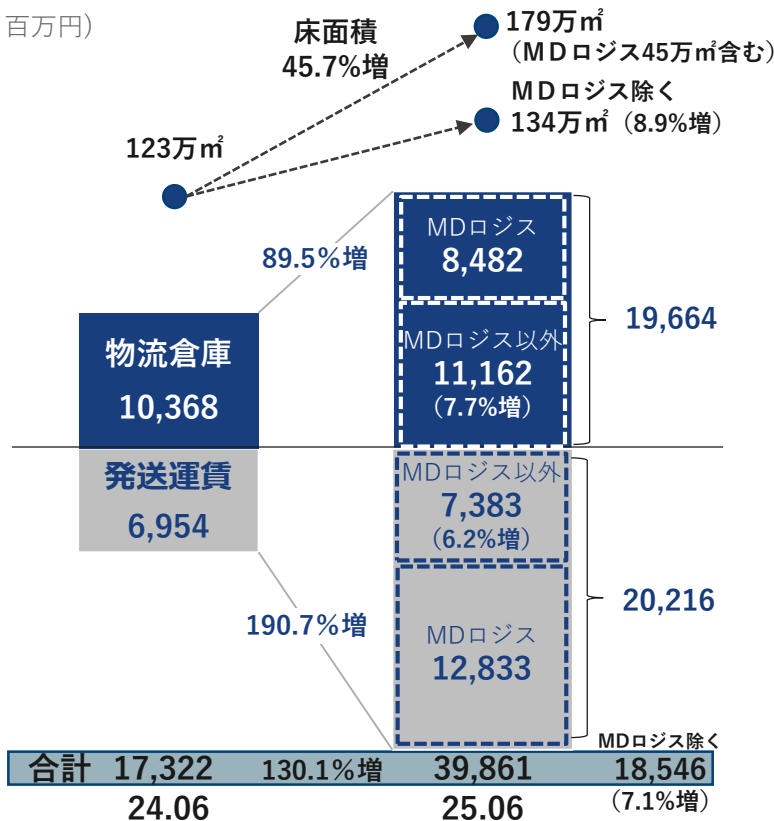
ロジスティクス・貸切事業の状況



ロジスティクス | 売上高 (管理会計)

MDロジ連結効果もあり売上・床面積とも大幅増加
新施設の稼働率が上がり売上に寄与

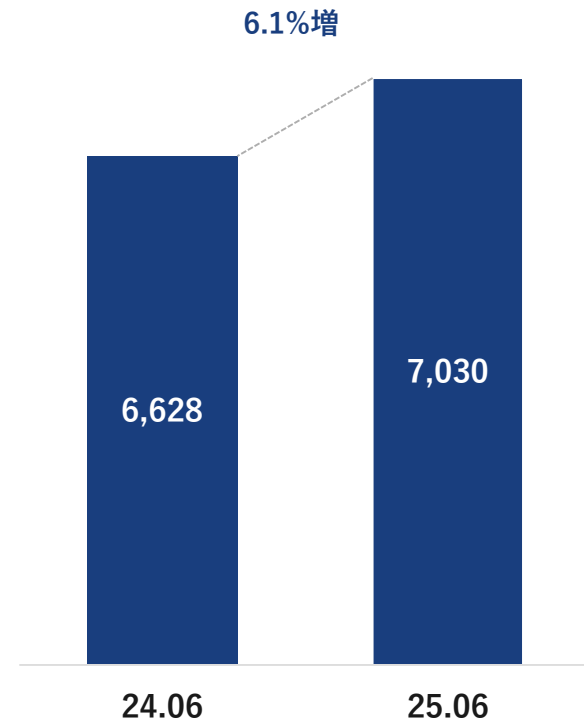
(単位：百万円)



貸切 | 売上高 (西濃運輸：管理会計)

ハコベル求車・求貨システムを
活用した受注増により伸長

(単位：百万円)



おわりに



- ① 第1四半期決算は、MDロジスの連結効果に加え、特積みでの適正運賃収受の進展や、運行便の効率化により費用増加を抑制したこともあり、増収増益となりましたが、計画比ではオンラインでの進捗となっております。
- ② 引き続き、特積みでの高重量帯を中心とした単価伸長による売上拡大や、運行便の効率化により利益確保を継続し、業績予想数値の達成に向けて取り組んで参ります。
- ③ 配当金DOE4%配当を継続し、年間102円（中間43円）を計画しております。

Appendix

営業費用（連結）



MDロジスの連結もあり営業費用は増加（20.4%）したものの、
費用増加を上回る売上増加（21.2%）により営業利益は増加

単位:百万円	24.6	25.6	前年同期比	コメント	
人件費	54,277	60,966	+6,689 (+12.3%)	MDロジス連結影響 MDロジス以外での増加	6,458百万円 230百万円
燃料費	4,502	4,692	+189 (+4.2%)	MDロジス連結影響 MDロジス以外での増加	133百万円 56百万円
減価償却費	5,361	6,210	+849 (+15.8%)	MDロジス連結影響 MDロジス以外での増加	739百万円 109百万円
備車料・取扱手数料・外注費	46,980	63,990	+17,009 (+36.2%)	MDロジス連結響額 MDロジス以外での増加	13,638百万円 3,370百万円
その他	46,964	54,506	+7,541 (+16.1%)	MDロジス連結響額 商品仕入原価の増加 賃借・リース料の増加	6,700百万円 ▲303百万円 293百万円
営業費用合計	158,085	190,365	+32,280 (+20.4%)	連結売上増加率 21.2%	

バランスシート

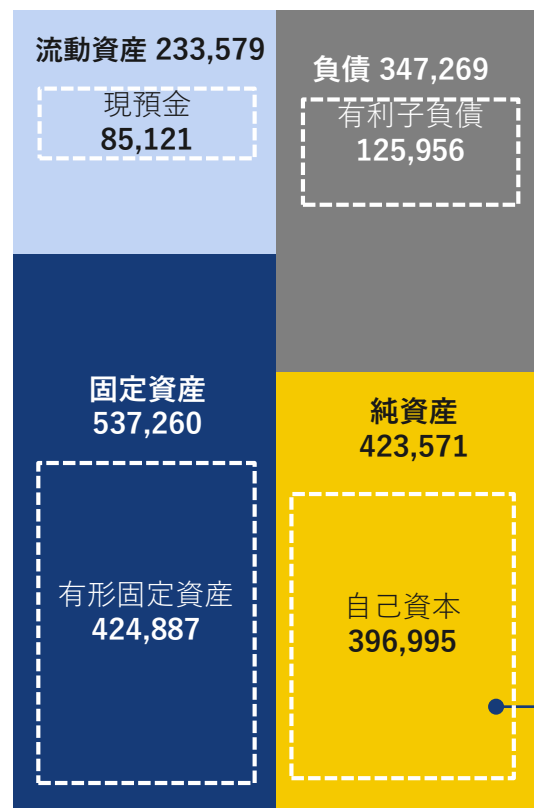


期末配当支払いにより自己資本は減少、
有形固定資産の取得もあり、現預金が減少

2025年3月末

(単位：百万円)

総資産 770,840百万円

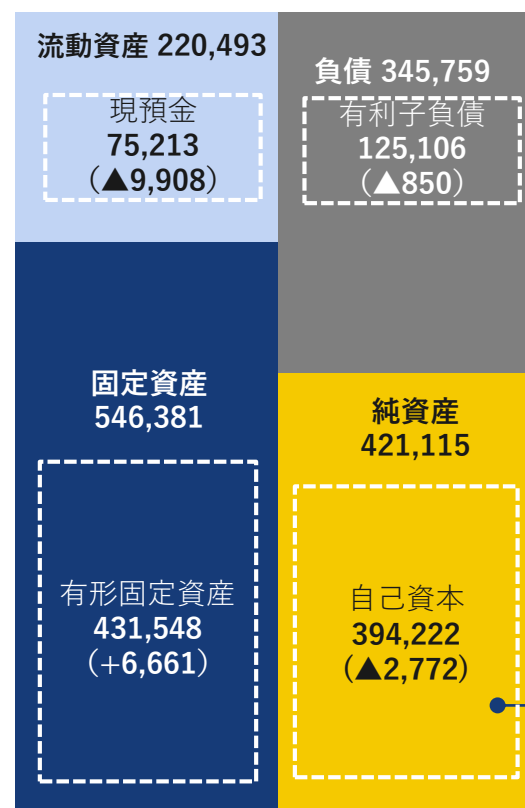


自己資本比率
51.5%

2025年6月末

(単位：百万円)

総資産 766,874百万円 (▲3,966)



自己資本比率
51.4%



業績予想の想定

1.単価：利益寄与 37億円

単価想定：104.5%（4月速報 105.2%）

- ・前期から取り組んでいる3年周期の運賃改定のターゲットや、個建契約荷主の運賃改定をなど、適正運賃収受の取り組みを継続する。

2.物量想定

物量想定：99.5%（4月速報 100.0%）

- ・米国関税問題の影響が見えない部分が多く、国内経済の先行きが不透明であることから、現時点では、物量は若干の減少を想定

3.MDロジスの通年寄与：利益寄与 19億円

- ・24年10月より連結化、今期連結業績に通年寄与
通期連結影響額 売上 549億円 営業利益 19億円

4.ロジスティクスの拡大：利益寄与 10億円

- ・売上拡大により先行投資のキャッチアップを図るとともに、新たな成長に繋げるための投資も進める。
今期は4拠点（自社3：賃借1）を開設し、5.6万㎡の床を確保を進める。

5.コストコントロール：利益寄与 20億円

- ・物量に相関した運行体制の構築として、往復物量のアンバランスをハコベルでの片道手配を進めるなど、コストコントロールを進めることで、運行便全体の積載効率を高め混載差益を創出する。

2026年3月期 業績予想（通期）



単位:百万円	26.03 (予想)	25.03 (実績)	増減額 (前年)	増減率 (前年)	コメント
売上高	813,700	737,377	+76,322	+10.4%	【輸送事業】
輸送事業	632,000	554,126	+77,873	+14.1%	<MDL影響額>
自動車販売事業	112,400	115,328	▲2,928	▲2.5%	売上 54,940百万円
物品販売事業	38,200	38,780	▲580	▲1.5%	営業利益 1,970百万円
不動産賃貸事業	2,400	2,354	+45	+1.9%	(通期売上) 115,700百万円
その他	28,700	26,786	+1,913	+7.1%	(通期営業利益) 5,320百万円
営業利益	37,600	29,883	+7,716	+25.8%	<特積み（西濃運輸）>
輸送事業	28,700	20,743	+7,956	+38.4%	物量 99.5%（日当り）
自動車販売事業	6,250	7,161	▲911	▲12.7%	単価 104.5%（一般）
物品販売事業	1,180	1,169	+10	+0.9%	日数 100.0%
不動産賃貸事業	1,740	1,731	+8	+0.5%	【自動車販売事業】
その他	1,850	1,829	+20	+1.1%	<新車販売台数>
調整額	▲2,120	▲2,752	▲632	-	乗用車 16,600台（99.5%）
経常利益	38,300	28,124	+10,175	+36.2%	トラック 2,029台（80.4%）
親会社に帰属する 当期純利益	22,000	19,253	+2,746	+14.3%	持分法投資利益 150百万円
					EPS 147.35円（+31.94円）
					ROE 5.4%（+0.7pt）

2026年3月期 業績予想第2四半期（中間期）



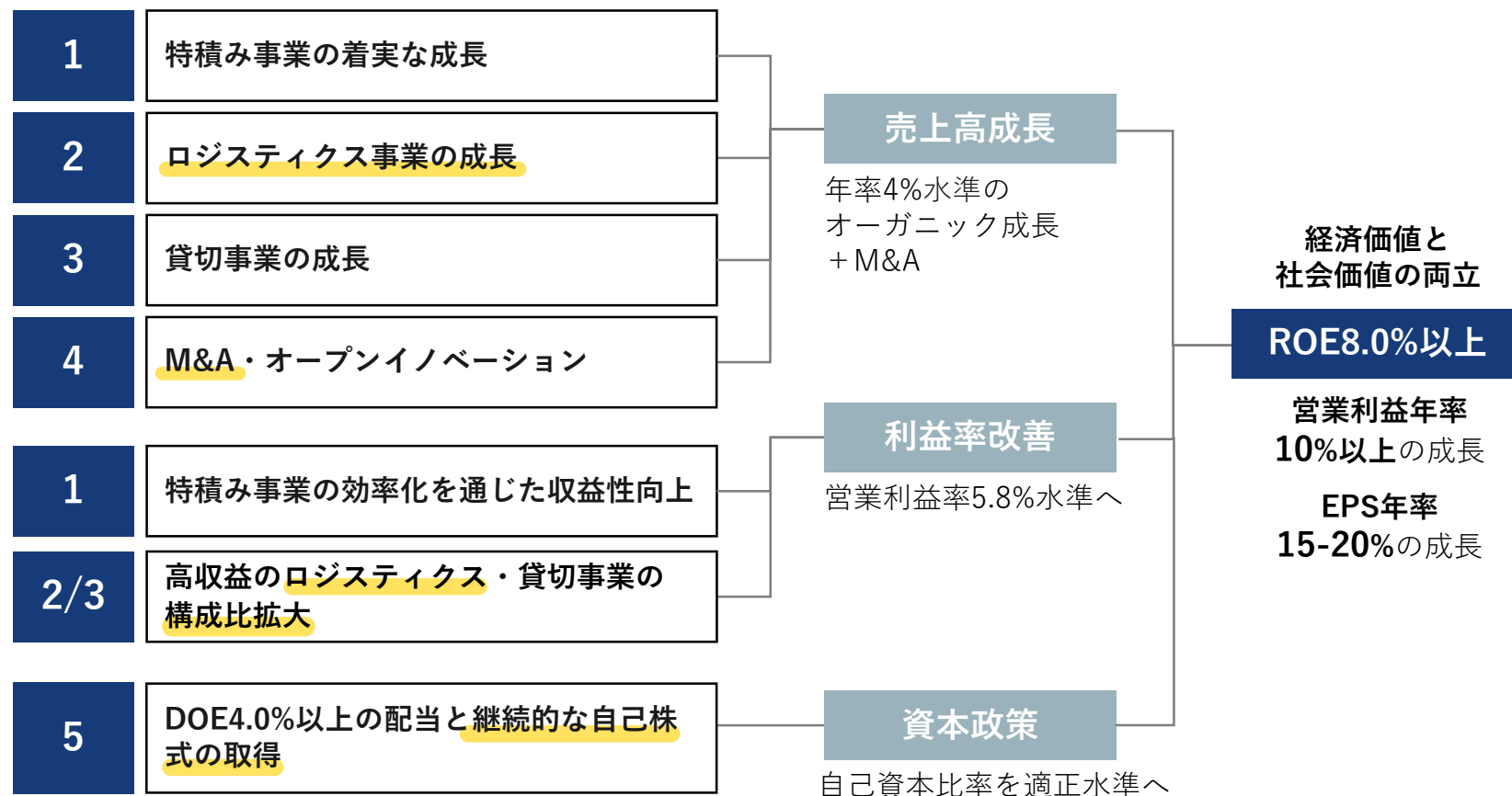
単位:百万円	25.09 (予想)	24.09 (実績)	増減額 (前年)	増減率 (前年)	コメント
売上高	398,500	331,604	+66,895	+20.2%	【輸送事業】
輸送事業	308,800	240,843	+67,956	+28.2%	< MDL影響額 > 売上 57,100百万円 営業利益 2,570百万円
自動車販売事業	56,500	58,732	▲2,232	▲3.8%	
物品販売事業	18,400	18,180	+219	+1.2%	<特積み（西濃運輸）>
不動産賃貸事業	1,200	1,157	+42	+3.7%	物量 99.3%（日当り） 単価 104.5%（一般） 日数 100.0%
その他	13,600	12,689	+910	+7.2%	
営業利益	17,000	13,075	+3,924	+30.0%	【自動車販売事業】
輸送事業	12,090	7,306	+4,783	+65.5%	<新車販売台数> 乗用車 7,960台（91.9%） トラック 1,034台（72.5%）
自動車販売事業	3,540	4,438	▲898	▲20.2%	
物品販売事業	560	556	+3	+0.7%	
不動産賃貸事業	850	846	+3	+0.4%	
その他	930	917	+12	+1.4%	
調整額	▲970	▲990	+20	-	
経常利益	17,100	13,159	+3,940	+29.9%	持分法投資損失 300百万円
親会社に帰属する 四半期純利益	9,300	6,434	+2,865	+44.5%	EPS 62.34円（+24.09円）

ロードマップ2028 ～逆ROEツリー～



ロードマップに基づきロジスティクス分野での大型M&Aと、
23.03期、24.03期に渡り大規模な自己株式取得を実施。
ROE 8 %に向け、資本効率を意識した施策を進めていく

ROE改善のドライバー



セイノーグループの人的資産 ～現場で輝くプロフェッショナルたち～



セイノーグループで行われている
様々な取り組みの背景にある「人の想い」を
お届けしていくオウンドメディア



青色部分だけを見ると軸となる
「ヒト」の文字が浮かぶ

「ドライブ」には、物流/運転、気持ちを駆り立てる、
情報の蓄積の3つの意味が込められている！

目的

物流の“想い”を、もっと届けたい

物流・運送業界の魅力や想いをセイノーならではの切り口で
世の中に発信し、**企業ブランド価値を高める**

狙い

“ヒトの魅力と想い”が、ブランドを動かす

1. マスメディアでは伝わりにくい「想い」を
自社メディアの力で可視化
2. 「セイノーらしい人の魅力」を通じて
信頼感や企業好感度を向上させる
3. 採用・社内活性・取引先開拓など、
多面的なブランディング効果を狙う



● 西濃運輸新入社員の1日！トラックの助手席からのスタート！ ● 大型トラックに乗る”24歳女性ドライバー”のリアルな1日！



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問合せ先

セイノーホールディングス株式会社

〒503-8501 岐阜県大垣市田口町 1 番地

TEL : 0584-82-5023 FAX : 0584-82-5043

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>

E-mail : i.r@seino.co.jp